4. 整備イメージと方向性に関する補足資料

■建物配置についての比較検討

建物の配置場所として、町民ワークショップにおける検討から、以下の 4 か所が候補として挙げられた。

建物配置を検討する際の条件として重要な、動線、隣接する施設、管理、景観、日当たり、及び広場との関係の 6 つの観点から、それぞれの特性を整理したものを下表に示す。

町民ワークショップにおける議論の結果、子どもたちの安全を確保する点、駐車場からのアクセスや駐車場の町有地と一体的な活用の観点が重要と考え、本実施計画では案 4 南西案が適当と判断した。

<table>
<tr><th></th><th>案1:北東
（ミサトベース側）</th><th>案2:北西
（こども園側）</th><th>案3:南東
（観光駐車場側）</th><th>案4:南西
（町有地横）</th></tr>
<tr><td>車の動線（アクセス、安全）</td><td colspan="2">△建物に付随するサービス駐車場により北東～北西道路の車の通行量が増え、通学児童やミサトベースとの行き来等の安全面が不安。</td><td colspan="2">○観光駐車場と近く利用者の利便性が高い。
○車の動線が短く、歩行者動線との錯綜が少ない。</td></tr>
<tr><td>歩行者動線（利便性）</td><td colspan="2">△観光駐車場から遠い。</td><td colspan="2">○観光駐車場から近い。</td></tr>
<tr><td>隣接する施設</td><td colspan="2">○ミサトベースに近く活動面で連携しやすい。</td><td>―</td><td>○南側町有地を一体的に活用できる。</td></tr>
<tr><td>管理、見守り</td><td>―</td><td>―</td><td colspan="2">○ミサトベースと挟み込む形で敷地内を広範囲に見守れる。
○来訪者のメインゲートに近く、来訪者の状況が把握しやすい</td></tr>
<tr><td rowspan="2">景観（視認性）・眺望</td><td colspan="2" rowspan="2">○メインゲートからメタセコイヤの景観を確保（ただし、背景に建物）。
△メインゲートからの建物の視認性はメタセコイヤに遮られ、低い</td><td colspan="2">○メインゲートからメタセコイヤの景観及び施設の視認性を確保。</td></tr>
<tr><td>△建物の高さによっては広場からの白鳳山の眺望を遮る可能性あり</td><td>―</td></tr>
<tr><td>日当たり</td><td colspan="2">○南側に開けていて日当たりが良い。</td><td colspan="2">△北側に開いている。（広場に建物の日陰ができやすい）</td></tr>
<tr><td>他のゾーンとの関係</td><td colspan="2">○広場が最も大きく確保できる。</td><td>△広場が狭い。</td><td>―</td></tr>
</table>

■世代別に見た、ほしい遊具や遊び

小学生	中学生	高校生	未就学児（保護者）	障がい児（保護者）
●アンケート上位（上位順） ・キッチンカー・カフェ ・チョークで落書き ・ツリーハウス ・水遊び ●アンケート以外の意見 ・原っぱ ・小山 ・遊具（ブランコなど） ・ボルダリング ・隠れる場所 ・テーブル・ベンチ、屋根のある建物 ・飲み物を飲んだり、スイッチやポケモンカードができる場所 ・屋内遊び場 ・ポップコーン屋さん	●アンケート上位（上位順） ・バスケットのゴール ・キッチンカー・カフェ ・野球ができる ・冬も遊べる遊具	・長時間いても怒られない場所 ・勉強など長くできる場所 ・泥遊び ・水遊び・雪遊びできる場所 ・バーベキュー ・スポーツ施設（男子） ・ストリートスポーツ ・スケートボード ・ボルダリング ・バッティングセンター ・バスケコート ・キャッチボール ・カフェ（女子） ・涼しくて安いお店	・砂場や泥遊びできる場所 ・ままごととか静かに集中していられる場所 ・室内に赤ちゃんと過ごせる場所 ・冬でも遊べる施設 ・室内の遊び場（小さい子向け） ・運動スペースに遊び道具や遊具	・小山 ・原っぱ ・芝生 ・水遊び ・池・川 ・虫取り・落ち葉拾い ・遊具 ・インクルーシブ遊具 ・滑り台 ・ブランコ（背もたれ付き、腰が固定できる、シートベルトで固定できる、脚が入って滑り落ちないタイプ） ・砂場 ・シーソー ・ジャングルジム ・アスレチック ・ボルダリング ・バランスボール ・車椅子から降りなくても乗れる遊具 ・大きい子用・小さい子用のエリアに分かれている年齢に合った遊具 ・歩く、散歩、走る、かけっこ ・高い所
出典 ・令和4年度アンケート結果 ・令和4年度デザインWS ・令和5年度第3回WS	出典 ・令和4年度アンケート結果	出典 ・令和4年度デザインWS ・会津西陵高校生ヒアリング（令和5年度）	出典 ・令和4年度デザインWS ・令和5年度第3回WS ・令和5年度あとちであそぼうでの意見	出典 ・障がい児保護者へのアンケート結果

■本郷地域および周辺における施設等の整理　＊：本郷地域外

機能	施設名	内容等	地域
広場、公園　大	・白鳳山公園		
	・せせらぎ公園オートキャンプ場		
	＊ふれあいの杜スポーツ公園		新鶴
	＊宮川いこいの河畔緑地公園		高田
	＊会津総合運動公園		会津若松
	＊じゃぶじゃぶ池		猪苗代
広場、公園　小	・ふれあい公園		
	・水車公園		
	・化石の広場公園		
	・お地蔵広場公園		
	・風の子公園	遊具あり	
	・道上公園	遊具あり	
交流・活動 カフェ、お茶が飲める場	・本郷公民館・生涯学習センター	R5 本郷庁舎へ移転 ※詳細欄外	本郷
	・ミサトベース	フリースペース	
	・コバコ	カフェ、店舗、レンタルサロン、多目的スペース、レンタルキッチン	
屋内遊び場	＊子育て支援センター		高田
	・本郷体育館	R7 解体予定	
	＊めごぶらざ		喜多方
	＊屋内遊び施設（整備予定）		会津若松
	＊木育広場もくれん	小規模	会津若松
観光、その他	・窯元 12 軒		
	・陶磁器会館（販売、ミニ博物館）		
	・インフォメーションセンター		
	・向羽黒ギャラリー		

●本郷庁舎の複合的活用（本郷庁舎利活用基本計画より）

・支所機能

・生涯学習センター機能（公民館事業、文化・ボランティア団体の活動、子どもの育成）

調理室、図書室、学習スペース、本郷焼展示コーナー

・老人福祉センター機能

・災害対応（避難所、福祉避難所、備蓄）

・その他の複合的機能：**休憩や談話が可能なスペース、コワーキングスペース、民間企業等へのスペース貸し出し、会議室、教育相談や学習支援**

駐車場規模（台数）の考え方

駐車場利用者	台数の考え方	駐車場台数	
①管理者用 （協定等で定められた人）	• 来訪する管理者は、基本的に1人とし、自動車も1台と想定する。	1台	計 5台
②関係事業者用 （施設メンテナンス業者等）	• 施設清掃、自動販売機等のメンテナンスのための来訪、1社（1台）を想定する。	1台	
③身体障害者の来訪者用 （バリアフリー対応用）	• 車いす利用者等の来訪、2組（2台）を想定する。	2台	
④予備用　（①～③の予備、事業者の来訪が重複した場合等）	• 上記の予備として、1台分を想定する。	1台	
⑤跡地広場・施設への一般来訪者用	• 月に数回程度行われる可能性がある本郷地区からの来訪を想定した**小規模なイベントに対応できる台数**を想定する。 • 小規模なイベントとは、ここでは仮に11/19日の実証実験時程度、**来訪者数で200人程度のイベント**を想定する。 ➢ **中規模以上のイベント時は、周辺の駐車場との連携を想定する。**	次項の算定参照	

小規模なイベントに対応するための駐車場台数の算定

• イベント等に対応する駐車場の台数は、一般的に右の算定式から求めます。

駐車場規模（台数）の算定式

X（必要な台数） ＝　A（来訪者数）
×B（自動車での来訪者の割合）
×C（1台あたりの平均乗車人員の逆数）
×D（一時に集中する自動車の割合）

駐車場利用者	各値の考え方
A：来訪者数	• 前項の通り、**２００人／日**と想定します。
B：自動車での来訪者の割合	• 周辺から徒歩や自転車での来訪者も想定し、**80%**が自動車での来訪と想定します。
C：1台あたりの平均乗車人員の逆数	• 1台につき、2人乗車し、来訪すると想定します。その逆数は**50%**となります。
D：一時に集中する自動車の割合	• 一時に集中する自動車は、全体の**40%**と想定します。

小規模なイベントに対応するための駐車場台数＝200×0.8×0.5×0.4＝３２台

コミュニティ施設に整備する駐車場台数

①駐車場整備の方向性

- コミュニティ施設を南側に配置することで、隣接する観光駐車場との連携が可能となる。（跡地への来訪者による観光駐車場の利用）
- 観光駐車場は、右図の通り、一般車で約40台、バスで3台分が確保されている。
- 現状で観光駐車場の利用は、イベント等が無い場合には利用率は低く、利用可能と考える。

②駐車場台数の聖地

対象	駐車場必要台数		対応施設	駐車場の整備・活用の方針
管理等基本台数	５台	→	**跡地内コミュニティ施設隣接駐車場**	**１０～１５台分程度を整備**
小規模イベント対応台数	３２台	→	**既存観光駐車場**	２２台～２７台程度分を活用（上記で捌けない台数）
合計	３７台		－	３７台

5. 整備手法について

①整備手法（活用制度）

公設公営（直営）

・行政が整備し、管理運営を行う。管理運営の全てについて行政が責任を負う。
・基本的に管理者は常駐しないため、コミュニティ施設等の使い勝手は悪い。
・個別の清掃などは業務委託。

・管理運営　⇒　行政（全責任を負う）
・管理者　⇒　常駐しない
・その他　⇒　清掃などを個別で業務委託

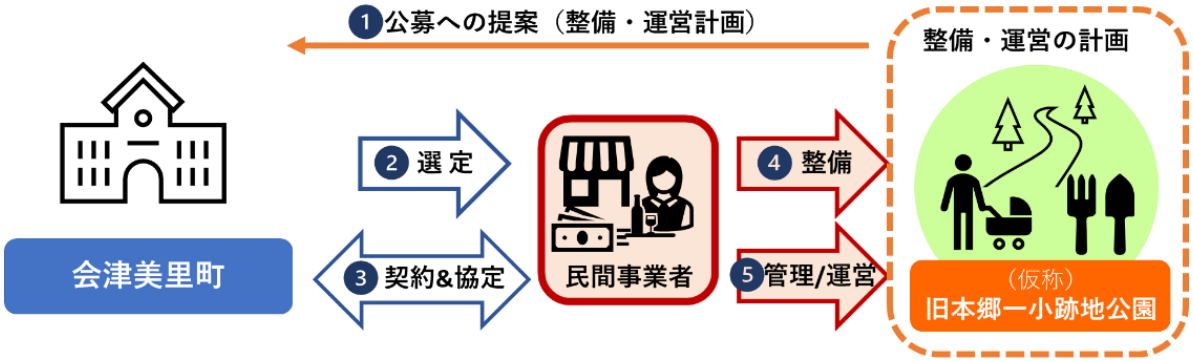
公設民営（指定管理者制度）

・公共（自治体）が整備を行った上で、管理運営は、自治体と指定管理者が協定を結び、指定管理者が管理運営を行う。
・指定管理者は、協定で定める範囲における自主事業により、収益を上げることが可能。
→指定管理者は、公園内でのキッチンカー等の営業、イベント実施等による収益が可能
※今回実施計画で想定

・管理運営　⇒　指定管理者（協定）
・管理者　⇒　常駐
・その他　⇒　指定管理者は収益可能（イベント等）
※今回の実施計画で想定

Park-PFI

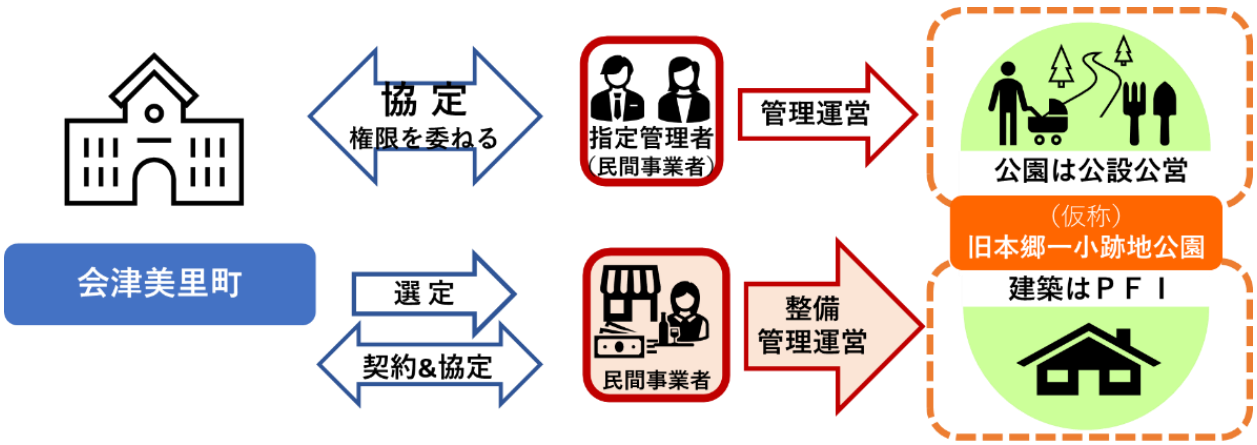
・公園に、レストラン等の収益施設を設置、運営及び園路や広場等公園施設を整備する民間事業者について、その内容の提案を含めて公募により選定する制度。
・公園に民間の優良な投資を誘導することで、管理者の財政負担を軽減しつつ公園の質や利便性を向上させることが可能。
※民間事業者にとっての事業性、収益が見込める立地等の条件が前提となる。



・管理運営　⇒　民間事業者（公募により選定）
・管理者　⇒　常駐
・その他　⇒　民間事業者は収益可能（レストラン等）
※管理者の財政負担を軽減しつつ公園の質や利便性を向上させる

公園を公設公営／建築をPFI

・育て支援センター等）を設置する場合には、敷地を分割して整備することが考えられる。
・この場合には、例えば、公園部分は、公設公営とし、建築物については、ＰＦＩ制度を活用することも考えられる。
※民間事業者にとっての事業性、収益が見込める立地等の条件が前提となる



※都市公園法で規定する用途以外の建築物を設置する場合には、敷地を分割して整備することが考えられる
※その場合、公園部分は公設公営とし、建築物はPFI制度を活用することも考えられる

６．ヒアリング及びアンケート調査結果

ミサトベース　ヒアリング

日時　：2023 年 8 月 9 日（水）10:00～11:00

場所　：ミサトベース

相手方：山本恵美様（管理者）

＜ミサトベースについて＞

・入所者 12-3 人のグループホーム。運営会社（神奈川県の企業）の考え方で、高齢者施設っぽくない、地域の交流拠点となる施設を設計整備。
　地域の人が自由に利用できる多目的ルームを併設。

・口コミで放課後の子どもたちが集まるようになり、思い思いに過ごしている。ロフト部分含め込み合うぐらい。
　挨拶をしましょうとか、下の子の面倒を見てあげようとか、基本的な（当たり前の）ルールは伝えるようにしているが、基本は自由。
　山本さんは近所のおばちゃんの感覚で接している（本業はあくまでホーム運営)。

・小学生を中心に中高生も遊びに来ている。跡地開放後は、跡地利用も積極的に促している。

＜跡地利活用に関する提案＞

・花壇があるとよいのでは？(ミサトベースや地域のグループによる花植え、みんなで管理)
　その際、ふちに座れる角のないデザインが良いと思う。

・ラジオ体操会場にしたい。

・跡地にもミサトベースのような小屋が必要（ミサトベースはもう満杯状態)。
　高校生に見守り役をバイトでやってもらったらどうか。

・お散歩利用（高齢者のリハビリから園児まで）は相当あると思う。
　したがって、歩きやすい園路のような部分、休憩用ベンチ等があると良い（高齢者の杖、車いす、ベビーカー)

・フェンスはなるべくない方がよい。どこからでも入れるように。

・メタセコイヤは怖いと思うこともあるが、卒業生にとってもはシンボルなので、切らない方がよい。

・木としては、桜の方がみんな(高齢者）は喜ぶ。

・子どものための、水遊びの場所や小山はぜひほしい。

会津西陵高校生 ヒアリング
日　時：2024 年 9 月 14 日 13：30～15：00
場　所：会津美里町役場 会議室
相手方：会津西陵高校 2 年生 廃校利活用 G 3 名

【全体意見】
・長時間いても怒られない場所が良い。
・禁止事項など制限があると行く気がなくなる。
・会津は遊ぶ場所がない。
　普段は、アミューズパーク、ドンキ・ホーテ、ゲーム（Switch）で遊ぶ。
・本郷第一小学校跡地について知っている人が少ない。（情報が入ってこない）
　何かやるならわかるように宣伝するのが大事。看板などを設置すると良い。
・新しい情報の多くは、友人からの口コミ。
・学校での情報発信は、ポスター掲示より、チラシの配付の方が目に留まる。
・男女で需要が違う。男子ならスポーツ施設、女子ならカフェの方が需要がある。
・水遊び、雪遊びができる場所は嬉しい。
・大量の雪があるのは、冬しかできない遊びができるから嬉しい。
・人がくる施設をつくると、駐車場が足りなくなりそう。

【屋外施設の意見】
・C 案に「ストリートスポーツ」の意見があった。
　スケボーができる場所が少なく、スケボーが好きな友人もいるので良いと思った。
・体を動かして遊びたい。
　バスケコート　→　安全性のためフェンス必要。音もでるが昼間だけなら問題ないか。
　スケートボード　→　音が響くため、住宅地には向かない。
　キャッチボール　→　意外とやる場所がない。大川の河川敷などまで行く必要がある。
　バッティングセンター

【屋内施設に関する意見】
・勉強をするためにマックにいっている。勉強など長いできる場所あると嬉しい。
・涼しくて安いお店があれば十分。ドリンク１杯３００円程度なら手が出る。
・向羽黒山城資料館に興味がある。

【その他】
実証への参加等についてお願いし、前向きな回答があった。
昨年のチラシを見て「こども達とあそびたい」との声もあった。
今回は男子生徒のみであったが、女子生徒の意見も聞けるように声掛け等の協力も快諾。

コパン・クラージュ　ヒアリング

日時　：2024 年 1 月 15 日（月）13:00～14:00

場所　：会津美里町役場 会議室

相手方：コパン・クラージュ　児童発達支援管理責任者　菅野トモ子様、他 1 名

<概要>

「公園や遊びに関するアンケート」結果を補足するものとして、施設職員へのヒアリングを実施し、普段保護者から聞いていることや施設での経験から、特に困っていることや、配慮してほしい重要なことについて、お聞きした。

＜ヒアリング内容＞

・コパン・クラージュに通う子どもたちは、大きく分けて、身体障害と発達障害の 2 タイプがあり、保護者が困っていることや要望も異なる。

●身体障害児の保護者等が特に困っていること、配慮してほしいこと

・車椅子で利用するため、大きな公園では**駐車場が遠い**ことが多く、せめてもう一か所近いところに駐車場がほしい。

・車椅子の子どもは自分で高いところに登れないので、**高いところに居る体験（風を感じるなど）**をさせてあげたい。例えば、遠回りでもバギーで登れるゆるい坂を小山等に設置するなど。

・車椅子にとって、園路や遊び場が舗装されている必要はあるが、芝生の場所もほしい（寝転んだりさせてあげたい)。芝生しかないと困るが、そうでなければ、**うまく両方を取り入れると良い**。子どもたちは、舗装がされていないところでボコボコした感覚を楽しんでいる面もあり、また、鍛える面もあるので、多少舗装されていないところがあっても良い。

●発達障害児の保護者等が特に困っていること、配慮してほしいこと

・発達障害の子どもは、見えたものに興味がわき、すぐそこに行きたくなってしまう。広い広場を自由に走らせてあげたいが、**少し目を離したすきに外に出てしまう危険**がある。柵も閉鎖的な雰囲気になりよくないので、植栽や花壇（ひざくらいの高さがあると良い）を設置すると、手を放すことができ安心。普段、施設外で外遊びをする際には、そのような小さな公園を選ぶ。

・発達障害の子どもにとっては、**小さな部屋や小さな図書館など、囲われた狭い場所**あると良い。広い場所では混乱してしまう場合があるが、その時に囲われた狭い場所に入ると落ち着くことができる。

●インクルーシブ公園など、健常の子どもと一緒に遊ぶことについて

・**みんなが一緒に遊びたいわけではない**。身体障害の子どもは健常者と遊びたい。逆に、発達障害の子どもは遊ばない。健常の子どもと一緒に遊ぶのは理想かもしれないが、トラブルがおきるので、保護者がつきっきりとなる。
・**トラブルを減らす方法として、ハード面のちょっとした工夫として「視覚的な支援」**ができるととても良い。例えば、すべり台等で並んで待つことができないので、並ぶ場所に足形のサインが付いていると、ここで待つということが理解しやすい。トイレや公園内施設の案内も、矢印やサインなど視覚的に分かりやすくすると、発達障害の子どもも理解しやすい。

●園内施設について、特に配慮してほしいこと、必要な設備等

・アンケート結果にも見られるように、トイレについての意見は切実である。**大人用のベッドが設置されたトイレ**が必要。多目的トイレがあったとしても、数が足りなくて困っている方が多い。各トイレにひとつあると良い。
・**日除けになる屋根付き休憩所**が必要。日光にあまり当たることができない子どもや暑いのがダメな子どもが結構いる。
・車椅子で利用できるように、**駐車場、日除けになる東屋等はとにかく広さがほしい**。
・身障者用駐車スペースが狭くて、大きな車椅子では利用できない場合がある。乗り降りするためには、**車の横と後ろに充分な広さ**が必要。
・汚れた手を洗えるところや、ずぶぬれになった時の着替えの場が必要。
・水のあるところには、人がいると安心。
・売店におむつシートやおしりふきなどがあると忘れた時に助かる。

●個々の特性別に見た好きな遊具等について

・手で支えることができない子どもには、体が「はまる」「またがる」遊具あると良い。
・車椅子ごと乗れる遊具があると良い。
・重心児（重症心身障害児）の子どもはハンモックでゆらゆらするのが好き。回る、揺れる、ふわふわドームも好き。
・自閉症の子どももゆらゆらするものが好きなので、大きな子ども（背丈が大人くらい）でもブランコで遊びたい。
・室内遊び場は障がいのある子どももよく利用する。めごぷらざにあるようなネット遊具は重心児や発達障害の子どもも楽しむことができる。高いところでゆらゆらする、もくる、かくれる、ことが好き。

●事例

・本宮市のウィリアムズ公園（室内外の遊び場がある）
・一方、若松の総合公園は健常者向け。とても広くて目が離せない。

公園や遊びに関するアンケート

目　的:障害を持っている方が、普段公園等を利用したり、外出する際に、どのようなことに不便さを感じているのかをお聞きする。

対　象:コパン・クラージュ(会津若松市)、ハッピーロード会津美里デイサービスセンターを利用する障がい児の保護者

実施時期:2023 年 12 月

回答者数:30 名

【集計結果】

Q－1　対象者の年齢層

3-5 歳	7 人
6-8	8 人
9-11	8 人
12-14	4 人
15-17	3 人

Q－2　障がいの種類

知的障害	11 人
身体障害	5 人（肢体不自由（下肢不自由）3 人含む）
ダウン症	4 人
自閉症	4 人
デランゲ症候群	3 人
脳性まひ（車イス）	1 人
遺伝子異常	1 人
運動機能障害	1 人
聴覚障害	1 人
発達障害	1 人
1 種 1 級	1 人

Q－3　公園や広場において、お子様はどんな遊び、過ごし方が好きですか。

滑り台	15 人
ブランコ	11 人
歩く・散歩	5 人
走る・かけっこ	5 人
遊具（各種）	5 人
砂場	4 人

池・川	２人
シーソー	２人
高い所へ登る	２人
体を動かしてもらう	２人
芝生でゴロゴロする	２人
動く回答（各１人）	アスレチック・ボルダリング・虫取り・落ち葉拾い・バランスボール・ジャングルジム・カシャカシャ音の出るもの
動かない回答（各１人）	まったりする・遊ぶ子を見る・座って過ごす・ぼーっとする

Q.１ 遊具や遊び場に関する困りごと

ブランコ

・ブランコの高さが高すぎる
・親子で乗ると考えると少し幅があるブランコがあるとよい
・背もたれ付き、腰が固定出来るようなブランコがなくて遊べない
・ブランコも一人で乗せるのは危ない。シートベルトで固定できると肢体不自由の子供でも安全に乗れる。サイズも子供サイズではなく大き目なサイズ。
・体幹が弱いのでブランコは{現状の絵} ではなく脚が入って滑り落ちないタイプの物を設置して欲しい（絵あり）
・ブランコも好きだが、一人では危ない
・ブランコからの転落も心配

滑り台

・滑り台の傾斜がつきすぎていると一人で滑るのに、心配
・滑り台が好きだが、自分では上まで移動できない
・夏、滑り台のやけどは心配
・ブラスチックの滑り台を利用した時の静電気がすごすぎる

砂　場

・砂場などは猫、犬が入らないように柵があると遊びやすい

遊具全般

・遊具が少ない
・遊べる遊具が少ない
・インクルーシブ遊具が欲しい（遊べる遊具が近場にない）
・安全に利用できる遊具が少ない
・遊びたくても見ているだけで、楽しめない

・滑り台やブランコなどチャレンジさせてみたいが高さがあると危なくて難しい
・車イスから降りなくても乗れる遊具があれば良い
・公園というと、小さい子供がメインの遊具
・小さい子用の遊具はサイズが合わない
・大きい子用と小さい子用のエリアに分かれていて、年齢に合った遊具で遊べるのが理想
・一緒に（下の子と）行ける公園がない。

介助

・体が不自由なため、遊具に乗せるのに介助が必要。乗せやすい遊具がない
・体重も重くなってきたので介助者も楽に乗り物に乗せられるような遊具が欲しい
・介助が必要なため、利用できる遊具が少ない
・肢体不自由児なので、自分で手足（体）を動かすことができないので、親や支援者がいないと遊具に乗れない

コミュニケーション

・人（子供）が多いと仲間に入れない
・子供が多すぎたり、大きな声を出す子がいると苦手
・人が多いのが苦手
・幼少期は人が多いところは苦手で近寄らなかった
・順番を待つ周りの子のルールが分からないので、親が常についていないと困る
・待つことが出来ない
・親が子供に帰る事を伝えると逃げるので、小さい子も押しのけてしまう事がある・話せないので、遊具の順番待ちでコミュニケーションが取れない
・伝える事ができなく、コミュニケーションが苦手
・他の子との関係性
・こだわりが強く大声を出すので、他の子に変な目で見られる（親にも変な目で見られる）
・声を出してしまうので、迷惑にならないかといつも思っている

危険を感じたこと、危険な体験

・遊具の手すりの間が開いている
・小学生の子たちが走り回って危ない遊具の使い方をしていて、ぶつかってきたりするので危ない（ケガをしそうになった）
・ふざけて、小学生の子たちが遊具に石を置いたり、投げたりしてきて、危なかった
遊具の上で鬼ごっこをしている子たちがいて、娘にぶつかり転落しそうになった
滑り台を前の子がまだ滑り終わらないのに、次の子が滑りだしてぶつかった
・ボール使用とその他が分かれておらず、乳児の頭にボールをぶつけられた事がある
・川沿いを歩く時、落ちてしまわないか？心配になる
・池に落ちそうになる

・危険察知が難しく、かえって楽しく道路へ飛び出てしまうことがあり、家族が見つけて（車が通っていなかった）ヒヤッとした
・目を離したすきに見えない所（すぐ近くにいたが）に移動していた
・手をつないでいる時、急に振り切るので不安
・4 才の頃、イベントでコーヒーを購入している間に退屈して待てず、親の顔を見ながら車と植木の間をすり抜けるように逃げていき、見失い 2 時間探してやっと見つけた
それ以来、少しでも目を離すことが怖い。遊び場に囲い、柵があれば良いと思う。安心して遊ばせたい。

Q. 2 公園等のアクセスや施設(遊び場以外の施設)についての困りごと

トイレ

・ベッド付きのトイレがない（あっても汚い）
・オムツ替えの時のベッドがもう少し大きいと助かる
・トイレにオムツ替えシートを付けて欲しい
・トイレは多目的トイレ、ベビーベッド以外の立ったままオムツ交換ができるスペースがあると助かる（例えば、ストッキングなど交換する平たい台のような）
・大きい子でも横になってオムツ替えをできるベッドがない（今は赤ちゃん用のオムツ替えを利用しているが足が出て危険、じっとしていないので落ちそうになる）
・障害の子用のトイレはあるが、車イス用としてが多い。小学低学年でも紙パンツなので靴を脱いで取り換えられる台が欲しい
・トイレに困る（公園だけとは限らない）大きいオムツ交換台があると良い。

・多目的トイレがなかったり、あっても使用の際に汚い
・多目的トイレが少ない
・障害児トイレもあると良い
・障害者用のトイレが充実していない
・誰でもトイレの数を増やして欲しい
・遠い
・トイレが多いと良い
・トイレが子供用ではないので、利用しづらい
・トイレが使いづらい
・トイレが利用しにくい
・トイレがとても汚く、安全面が怖い（盗撮など）

休憩スペースや東屋、ベンチ

・休憩スペースを目が届く所に設置して欲しい（他の子、自分の子も見えるように）
・休憩所が欲しい（会津レクリエーションのような）

・休憩場所が少ない（3 人）
・休憩場所が多いと良い
・ベンチが少ない
・広々として動き回れるベンチがあれば良い
・広々としたベンチがあるとよい（まだ立てない）
・日除け、雨除けになる屋根付きの休憩所が少ない
・ベンチがあっても日除けとして、東屋があると便利
・日陰が多い方がよい（若松は暑すぎる）
・日除けがあった方が嬉しい
・車イスでも使いやすいテーブルがあれば良い
・遊具が使えなくてもテーブルでの遊びやお友達とおやつを食べたり、色んな遊びを見つけられると思う

園　路

・道路ががたがたで公園内すら入れない
・バギーで移動のため、舗装されていないと動きにくい
・舗装されている所でないと車イスが押しづらい
・デコボコしていると車イスを押して移動しづらい
・砂利道や土だとバギーで行けない。ガタボコしていて、進めない

駐車場

・駐車場がない、あっても車イス用がない
・駐車場～公園までの移動が長いと利用しづらい
・駐車場から遊び場まで遠い
・身体障害者用の専用駐車場が少ない
・狭い
・駐車場は分かりやすいと嬉しい

情報

・公園内に何の遊具があるのか調べても出てこない
・全てロープが張られ使用禁止の所があった
・公園等に関する情報が少ない
・情報も探しやすいと嬉しい

公園全般

・スロープがなく広場に行けない
・車イススロープがあると便利
・すぐに手を洗える設備があれば助かる

・飲み物やアイスなどの自販機が欲しい
・自販機、ジュース、アイスがあると嬉しい
・自販機がない
・一人で行きたい所に行けたらもっと楽しいだろうと思う
・障害のある子どもの時間帯があると良いと思う（囲いがしてあると安心）
・公園はあるが、市や町の予算の関係で使用禁止になっている

Q. 3 どんな公園等に行きたいですか

遊　具

・すっぽり入れるブランコ
・背もたれ、腰が固定出来るようなブランコ
・人気のブランコが数多く置いてある
・靴を脱いで利用する滑り台、ブランコ等
・ロング滑り台
・滑り台が好きだが、自分では移動できない。築山のような滑り台の上まで車イスで移動して滑れるような滑り台。
・白いフワフワトランポリン
・ロープでできたアスレチックなど
・アスレチック設備（遊べる、散歩する感覚で楽しめる。広い所を時間をかけて楽しめる）
・ボタンやスイッチなどを押す、ハンドルを回す等で（介助者も）音が鳴ったり壁が動く等したら楽しい
・夏場に入れる水場、ひざ下の浅いプールのようなもの
・噴水や滝のようなもの
・健常児（者）と一緒に楽しめる遊具
・年齢、レベルに合わせた遊具
・背が高くても小さい子供が利用する遊具で遊びたい
・車イスのままでも遊べる遊具
・抱っこしながら楽しめる遊具のある公園
・大人が利用できる筋トレやリハビリ遊具

遊具・遊び場事例

・亀ヶ城公園のじゃぶじゃぶ池（猪苗代町）（2 人）
・猪苗代の亀リーナの水遊びができる設備
・屋内子供遊び場、めごぷらざ（喜多方市）
・福島県営いわき公園（アスレチック）
・としまキッズパーク、都立砧公園、恵比寿南ニ公園など（インクルーシブ公園）

屋根付きの場所、休憩所

・屋内、or　屋根付きで天気を気にせずに遊べる設備
・屋根付きのベンチや休憩所など
・屋根付きの日陰のある休憩所
・猛暑日が多いので、日除けできる場所（屋根付き休憩所）を多めに設置して欲しい
・緑地や日陰などの休憩場所
・休憩できる場所、軽食をとれる場所が近くにあると良い
・カフェなど、軽食が買えたら嬉しい

緑

・遊具もあり、緑豊かな公園（インクルーシブ公園）
・芝生がある公園
・どんぐりの木が欲しい

トイレ

・綺麗なトイレ
・障害者トイレが少し広いめで多いと子供を皆連れていても一緒に利用できる
・オムツ替え台がキレイなトイレのある公園

自由な移動、安全

・車イス（一人で）でスイスイ行けるような環境が良い
・囲いがある公園
・県外で、障害児（幼児）が広場から出ないように、一部のスペースだけ柵で囲われている安全対策を考えられた公園があった
・開成山のように、エリア毎に小さい子用、大きい子用で区切って欲しい
・安全な所があると良い
・目線が子供目線だと良い

Q. 4　公園以外の場で、困っていること

車での移動

・車イス用の駐車スペースが少ない
・入口から遠くていいので車イスの駐車スペースを作って欲しい
・車イスの乗せおろしにスペースが必要だが、どこへ行っても空いていない
・駐車場から遠いと大変

車を降りてからの移動

・車イスで移動する際に段差があり、行けない所が多い
・ベビーカーやバギーの移動なので段差がないと良い

・バギーでの移動自体が周囲の人にぶつからないか心配

トイレ

・トイレ！寝台に寝かせてオムツ替えをするので、壁に寝台が設置されている所が少ない
・トイレについて多目的トイレがある所とない所がある（車イスだとスペースが必要）
・体が大きく、オムツ替えの際、足がはみ出てやりづらい（トイレ）
・多目的トイレのオムツ交換台も大人用の大きい交換台を増やして欲しい
・オムツを変える所が少ない（大人用の台を置いてほしい）
・公園だけでなく、全体的に多目的トイレが少なく外出する度にトイレを探す心配ばかり
・小さな子でも利用できるトイレが備えてある場所が少ない

心配・不安なこと

・手をつないでいないと危機感がないので心配
・何も考えずに好きな方に行ってしまうので危ない
・どこへ行くか分からないので目、手を離せない
・急に走り出した時、歩道、道路幅が狭いところは歩いた時に心配
・急に手を振り切ったりするかもしれない（今はしない）
・じっとしていられないので、手を離せない
・スーパーで買い物が出来ない（走りまわる）
・知らない人でも触る
・人が多いのが苦手で一度機嫌が悪くなると切り替えができない事がある
・大きな声で歌いだしたり奇声を上げる
・人前でも声が出てしまう、大きな声で泣く
・大声を出す、かんしゃくを起こすと自傷行為をするのでそうならないように気を遣う
・他の人の目が気になる（大泣きした場合）
・言葉が出ないため、他の子とのコミュニケーションが取れない
・会話ができない為、声掛けされても返答ができない
・単語は話せることもあるが、迷子になったら心配で人が集う所へは、あまり行かないようにしている
・（行くのをあきらめる所）海（波打ち際まで行けない）
・１人で子供を連れて行く事が無理なので行かない

Q. 5 その他

・そもそも公園が少ない。下の子が鉄棒をしたいというので探したが、見つからなかった。
美里町には公園がなさ過ぎて子供が自由に体を動かせるところがないないと感じる（美里町の子供はポッチャリの子が多いと何かの資料で見ましたが、公園すらないのだから当り前だなと思う。小さいころから体を動かす習慣がないと家でゲームはかりする子が増えてしまうとデメリットが多いと

思う。
維持管理にお金がかかるのは理解できますが、そこを頑張ってほしい。